

整形外科

教授 吉田宗人

准教授 谷口泰徳

講師 山田宏 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 南晋司

助教 河合将紀 岩崎博 筒井俊二 宮崎展行 谷口隆哉

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキーンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究

- 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
- 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
- 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
- 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
- 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
- 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
- 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
- パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
- 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
- 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究

2 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究

- 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究

3 骨形成タンパク (OP-1) の臨床応用に関する研究

- 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
- 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究

4 その他

- キーンバック病に関する臨床的研究
- マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
- 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

a) 学術

1. 吉田宗人, 水田博志, 久保俊一他 (編著・執筆) 「イラスト図解 整形外科基本手技」株式会社文光堂, 東京, 2011
2. 久保俊一, 山下敏彦, 水田博志, 田口敏彦, 遠藤直人, 齋藤知行, 吉田宗人, 小宮節郎, 金谷文則, 大塚隆信 (編著・筆順) 「図解 整形外科. 改訂 2 版」株式会社金芳堂, 京都 2011
3. 谷口泰徳: 肘部管症候群 King 法 . 肘関節外科の要点と盲点 . 「整形外科 Back&Pitfall」金谷文則編、文光堂、東京、 pp.232-233, 2011
4. 谷口泰徳: 結晶沈着性関節炎・腱周囲炎 . 「運動器の痛みプライマリーケア肘・手の痛み」菊池臣一編、南江堂、東京 pp.262-268, 2011
5. 山田宏: 透析性脊椎症に特有の手術合併症 . 「整形外科 治療と手術の合併症 起こさない対策・起きたときの対応」土武史編, 金原出版社, 東京 ,p212-215 , 2011
6. 山田宏、吉田宗人、岩崎博 :Far-out 症候群 . 「アトラス骨・ 関節画像診断 5 脊椎・ 脊髄」戸山芳昭監修、山下敏彦編, 中外医学社, 東京, p 29-31 , 2011
7. 橋爪洋、吉田宗人: 病歴聴取の進め方 . 「イラスト図解整形外科基本手技」吉田宗人, 水田博志, 久保俊一編, 文光堂東京, 2011
8. 南出晃人、吉田宗人: 脊椎後方椎体間固定術 . 「イラスト図解 整形外科基本手技」吉田宗人、水田博志、久保俊一編, 分光堂, 東京, pp265-271, 2011.
9. 中川幸洋、吉田宗人: 脊椎の基本手術 固定術 . 「イラスト図解 整形外科基本手技」吉田宗人、水田博志、久保俊一編, 分光堂, 東京, pp 206-213 , 2011
10. 中川幸洋、吉田宗人: 腰椎椎間板ヘルニア . 「スポーツと腰痛 メカニズム&マネジメント」 山下敏彦編, 金原出版, 東京, pp55-64 , 2011
11. 中川幸洋: 腰椎椎間板ヘルニア . 「スポーツ整形外科学」中嶋寛之監修 福林徹、史野根生編, 南江堂, 東京, pp98-102 , 2011
12. 河合将紀、吉田宗人: 脊椎後方内視鏡手術 . 「イラスト図解 整形外科基本手技」吉田宗人、水田博志、久保俊一編 , 文光堂, 東京 , pp. 259-264, 2011
13. 野村和教、吉田宗人: 野球における腰椎椎間板ヘルニアの診療復帰をめざすスポーツ整形外科」宗田大編メジカルビュー社 , 東京, pp34-37, 2011
14. 宮崎展行: - 薬物療法 1) 医師の立場から - 薬効からみた処方のポイント . 「運動器の痛み プライマリケア 股関節の痛み」菊池臣一編, 南江堂, 東京, pp16-17 , 2011
15. 宮崎展行: - 薬物療法 1) 医師の立場から - 薬効からみた処方のポイント . 「運動器の痛み プライマリケア 肘・手の痛み」菊池臣一編, 南江堂, 東京, pp16-17 , 2011

総説

1. 吉田宗人: [特集] 内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必須知識 巻頭言: 内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必須知識編集にあたって . Modern Physician 31(9):pp1041-1042 , 2011
2. 谷口泰徳、下江隆司: 手播IP 関節症の病態と臨床像 . 関節外科: 973-979 , 2011.

3. 安藤宗治：脊椎病変と SNAP . 脊椎脊髄ジャーナル 25(1) : 67-69 , 2011
4. 山田宏、吉田宗人：脊椎・脊髄外傷の治療原則 . 整形外科基本手技 158 , 2011
5. 山田宏：腰部椎間板ヘルニア 内科医のための必要な腰部脊柱管狭窄症の必須知識 Modern Physician 31(9):1102-1103, 2011
6. 山田宏： C. 腰椎部疾患 4. 腰椎椎間孔病変の画像診断 . Monthly Book Orthopaedics24(11) 脊椎・脊髄画像診断 (増大号) :97-102 , 2011
7. 山田宏：整形外科手術・私のポイント 腰椎外側病変の除圧手技 . 整形 災害外科 54(13) : 1618-1619 , 2011
8. 山田宏： MED System による脊柱管狭窄症 (脊柱管内) の除圧手術 . 第2回腰痛シンポジウム講演記録集 Video による各種腰椎手術の披瀝 :p5-14 , 2011
9. 橋爪洋、吉田宗人：内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必須知識 (プライマリ・ケア医として、知っておいて欲しいこと) 5 . 日常生活指導 . Modern Physician31(9) ,1076-8, 2011.
10. 南出晃人、吉田宗人：頸椎神経根症に対する内視鏡下後方除圧術の臨床成績 . 整4(災害)93-697, 2011.
11. 中川幸洋、吉田宗人：低侵襲腰椎手術のポイントと実際 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術の利点と課題 . 脊椎脊髄ジャーナル 24(1):19-26, 2011
12. 中川幸洋：標準腰椎手術のコツとpitfall 腰部脊柱管狭窄症：内視鏡下除圧術 (椎間孔・外側狭窄含む) . 関節外科 435-444, 2011
13. 中川幸洋、吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症] に対する手術戦略 内視鏡下後方除圧術 . 臨整外46: 495-502, 2011
14. 中川幸洋、吉田宗人：痛みとしびれのサイエンスー基礎と臨床 腰部脊柱管狭窄症 . 脊椎脊髄ジャーナル 24(5) : 515-521, 2011
15. 中川幸洋：内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必須知識 内視鏡下除圧術 . モダンフィジシャン 31(9): 1095-1099, 2011
16. 中川幸洋、吉田宗人、南出晃人、河合将紀、山田宏、橋爪洋、岩崎博、筒井俊二：頸椎部脊椎内視鏡手術の将来展望と限界 日整会誌 85: 849-855, 2011
17. 野村和教、吉田宗人：低侵襲手術時代の整形外科リハビリテーション 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡手術 Journal of Clinical Rehabilitation 20(11) : 994-997, 2011.
18. 谷口亘： In vivo パッチクランプ法 . 整形外科 62(3) : 262 ,2011
19. 谷口亘、吉田宗人、中塚映政：【疼痛性疾患に対する薬物療法 - 最近の進歩】鎮痛薬の作用機序 - オピオイド 整形災害外科 54 : 1477-1483 ,2011

原著

1. 吉田宗人：内視鏡低侵襲脊椎手術—普及までの奇跡と今後の展望 Pine Research 2(8):pp1331-1332,2011
2. 千葉一裕 , 吉田宗人 , 四宮謙一 , 里見和彦 , 赤木繁夫 , 紺野慎一 , 田口敏彦 , 田中靖久 , 馬場久敏 , 角間辰之 , 米本孝二 , 中山健夫 , 河原和夫 , 白土修 , 松崎浩巳 , 百島祐貴 , 新井嘉容 , 永田見

生 日本整形外科学会脊椎脊髄病委員会：骨粗鬆症性椎体骨折の保存療法骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存療法の指針策定 多施設共同前向き無作為比較パイロット試験の結果より. 日本整形外科学会雑誌 85(12): 934-941,2011

3. 吉村典子 , 中村耕三 , 阿久根徹 , 藤原佐枝子 , 清水容子 , 吉田英世 , 大森豪 , 須藤啓広 , 西脇祐司 , 吉田宗人 , 下方浩史:【運動器疾患の予防と治療】 高齢者運動器疾患の疫学と新たな腰痛・膝痛・骨折に関する大規模コホート追跡研究advances in Aging and Health Research 2010:21-25,2011
4. 貴志真也 , 森北育宏 , 岩淵和人 , 左海伸夫 , 吉田宗人: 男子大学剣道選手の腰痛と脊柱alignmentおよび脊柱筋の特徴との関係 . 日本整形外科スポーツ医学会雑誌):130-136,2011
5. Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.: Incidence and risk factors for radiographic knee osteoarthritis and knee pain in Japanese men and women: A longitudinal population-based cohort study. Arthritis Rheum. [Epub ahead of print] ,2011
6. Kono R, Okuno Y, Inada K, Tokuda A, Hashizume H, Yoshida M, Nakamura M, Utsunomiya H.: A Prunus mume extract stimulated the proliferation and differentiation of osteoblastic MC3T3-E1 cells. Biosci Biotechnol Biochem. 75(10):1907-11. Epub,2011
7. Yoshimura N, Oka H, Muraki S, Akune T, Hirabayashi N, Matsuda S, Nojiri T, Hatanaka K, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Kawaguchi H, Nakamura K: Reference values for hand grip strength, muscle mass, walking time, and one-leg standing time as indices for locomotive syndrome and associated disability: the second survey of the ROAD study. J Orthop Sci. 16(6):768-77,2011
8. Muraki S, Oka H, Akune T, En-yo Y, Yoshida M, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, Yamamoto S, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.:Independent association of joint space narrowing and osteophyte formation at the knee with health-related quality of life in Japan:a cross-sectional study. Arthritis Rheum. 63(12):3859-64,2011
9. Muraki S, Akune T, Oka H, En-Yo Y, Yoshida M, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.: Prevalence of falls and the association with knee osteoarthritis and lumbar spondylosis as well as knee and lower back pain in Japanese men and women. Arthritis Care Res (Hoboken). 63(10):1425-31,2011
10. Muraki S, Akune T, Oka H, En-Yo Y, Yoshida M, Saika A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, Yamamoto S, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.: Health-related quality of life in subjects with low back pain and knee pain in a population-based cohort study of Japanese men: the Research on Osteoarthritis Against Disability study. Spine (Phila Pa 1976). 15;36(16):1312-9,2011
11. 谷口泰徳：肘部管症候群に対してThomas King が行った真のKing法 . 日手会誌 28 : 80-82,2011.
12. 谷口泰徳、山中学、下江隆司、辻本修平：手根管症候群を発症したtenosynovitis . 日手会誌 28 : 143-146,2011.
13. 谷口泰徳、下江隆司、山中学、吉田宗人：手根管症候群を発症したtenosynovitis . 日本整形外科学会雑誌 85(3) : S582,2011.
14. 谷口泰徳：肘部管症候群の外科的治療Thomas King が行った King法 . 中部整災誌 54(5) : 1059-1060,2011.
15. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠康、山崎悟、高見正成、太田泰宏、神埜聖治、佐藤椎橋弓形成術後 C5 麻痺は術中モニタリングで予防可能か . 脊髄機能診断学 94-99 , 2011
- 16.

安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠康：経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた術中脊髄機能モニタリングの検討．日脊髄障害医学会誌 23：56-57，2011

17.

伊藤全哉、松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、川端茂徳、寒竹司、齋藤貴徳、高橋雅人、谷口慎一郎、山本直也、里見和彦、俊一：術中脊髄モニタリングにおいて最適なmulti-modalityの組み合わせは何か？脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査 J Spine Research 2：88-96，2011

18.

伊藤全哉、松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、川端茂徳、寒竹司、齋藤貴徳、高橋雅人、谷口慎一郎、山本直也、里見和彦、俊一：術中脊髄モニタリングにおける multi-channel の有用性 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査 J Spine Research 2：97-103，2011

19.

Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Syunji Tsutsui: Efficacy of novel minimally invasive surgery using spinal microendoscope for treating extraforaminal stenosis at the lumbosacral junction. J Spinal Disord Tech,

20.

山田宏、吉田宗人、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、中尾慎一：維持透析患者の脊椎疾患における手術リスク．整形外科 62(1)1-5,2011

21.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登籠谷良平：腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡を用いた非固定・除圧単独手術の中期臨床成績．日脊椎脊髄病学会誌 2(3), S 488,2011

22.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登籠谷良平：腰仙椎管症候群-新しい疾患概念と手術術式の提案-．日脊椎脊髄病学会誌 S 545,2011

23.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登籠谷良平：脊椎内視鏡による椎間板ヘルニア、狭窄症の手術手技の実際と治療成績．日整形外科誌 98,2011

24.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登籠谷良平：腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡手術の中期臨床成績．日整形外科誌 547,2011

25.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登籠谷良平：腰椎外側病変に対する脊椎内視鏡下手術の実際と治療成績 日脊髄障害医学会誌 S75,2011

26.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登籠谷良平、寺口真年：脊椎内視鏡は腰椎外側病変手術における医原性不安定症を回避できるか？．日本内視鏡低侵襲外科学会 S49，2011

27.

松本卓二，西山大介，寺口真年，濱崎広洋：大腿骨近位部骨折におけるエノキサパリンおよびフォンダパリヌクスの術期 D-dimer 値の検討．中部整災誌 54(3) 487-488,2011

28.

松本卓二，西山大介，寺口真年，浅井宣樹，浜崎広洋：上膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験 従来法

との比較と新しい挿入器具の開発．骨折 S250,2011

29.

松本卓二，西山大介，寺口真年，浅井宣樹，浜崎広洋：大腿骨転子部骨折における髓内釘の術後スライディング量について Gamma 3、MultiFix、PFNA、INTERTAN における比較検討．骨折 33 S68,2011

30.

南出晃人、吉田宗人：高齢者腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術．脊椎脊髄 21, 2011

31.

南出晃人、吉田宗人：内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必修知識 - 疫学と自然経過 International Journal of Sports Medicine, 31: 1051-1054, 2011

32.

南出晃人、吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の手術の長期腰痛変性すべり症に対する除圧術・固定併用術の検討．脊椎脊髄 24: 953-959, 2011

33.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、岡田基宏：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の年以上の長期臨床成績．中部整災誌 4: 166, 2011

34.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、西秀人：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術の臨床成績 5 年以上の長期臨床成績．日整会誌 5(3): S485, 2011

35.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、川上守、安藤宗治：腰椎変性すべり症に対する非固定術と固定術の前向き研究 内視鏡下除圧術と固定術の臨床成績．J Spine Res 2(3): 481, 2011

36.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、石元優々、長田圭瀧口登：頸椎疾患手術の適応と問題点 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎除圧術の臨床成績．J Spine Res 2(3): 593, 2011

37.

南出晃人、吉田宗人、野村和教、岡田基宏、左海伸夫、麻殖生和博：成長期腰部スポーツ障害の若年発症と予防 選手の腰部椎体終板障害に対する脊椎内視鏡下手術．日本臨床スポーツ医学会誌 89, 2011

38.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀：頸部脊髄症患者における内視鏡下頸椎後方除圧術後の頸部軸疼痛の検討．中部整災誌 55: 55, 2011

39.

戸田佳孝、月村規子、槻浩司、増田研一：変形性膝関節症患者に対する口フストラッド杖の効果．日本医事新報 89, 2011

40.

Nakagawa Y, Yoshida M, Minamide A, Kawai M, Yamada H, Maio K : Posterior Microendoscopic Decompressive Laminotomy for Elderly patients with Lumbar Spinal Stenosis . J Spine Research 2: 368-371, 2011

41.

Chikuda H, Seichi A, Takeshita K, Matsunaga S, Watanabe M, Nakagawa Y, Oshima K, Sasao Y, Tokuhashi Y, Nakahara S, Endo K, Uchida K, Takahata M, Yokoyama T, Yamada K, Nohara Y, Imagama S, Hosoe H, Ohtsu H, Kawaguchi H, Toyama Y, Nakamura K : Acute Cervical Spinal Cord Injury Complicated by Preexisting Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Multicenter Study . Spine 36(18), 1453-1458, 2011

42.

[Seichi A](#), [Hoshino Y](#), [Kimura A](#), [Nakahara S](#), [Watanabe M](#), [Kato T](#), [Ono A](#), [Kotani Y](#), [Mitsukawa M](#), [Ijiri K](#), [Kawahara N](#), [Inami S](#), [Chikuda H](#), [Takeshita K](#), [Nakagawa Y](#), [Taguchi T](#), [Yamazaki M](#), [Endo K](#), [Sakaura H](#), [Uchida K](#), [Kawaguchi Y](#), [Neo M](#), [Takahashi M](#), [Harimaya K](#), [Hosoe H](#), [Imagama S](#), [Taniguchi S](#), [Ito T](#), [Kaito T](#), [Chiba K](#), [Matsumoto M](#), [Toyama Y](#) : Neurological complications of cervical laminoplasty for patients with ossification of the posterior longitudinal ligament-a multi-institutional retrospective study . [Spine \(Phila Pa 1976\)](#),36(15):E998-1003 , 2011

43.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司
頸髄症患者における後方内視鏡下除圧術後の椎間板の退縮について [Spine Research](#) 2(3) : 585, 2011

44.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司
腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術の長期成績年以上経過症例の検討-[J Spine Research](#) 2(3): 596,
2011

45.

中川幸洋：脊椎後方内視鏡手術と合併症とくに術後血腫とその対策について- . [J Spine Research](#) 2(3): 661, 2011

46.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、~~腰部脊柱管~~腰部脊柱管：
狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術の長期成績術後 5 年以上経過症例について [日整会誌](#) 85(3); S546, 2011

47.

河合将紀：腰椎分離症・分離すべり症に対する内視鏡下分離部神経根除圧術 . [整形外科](#) 735-743, 2011

48.

麻殖生和博、吉田宗人 ADL から QOL を治療する時代の変化レクリエーションスポーツなどへの対応 . [内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必須知識](#) [Modern Physician](#)31 : 1079-82, 2011

49.

岩崎博、吉田宗人、山田宏、筒井俊二、石元優々、長田圭司：腰椎椎間孔部狭窄症に対する遠位潜時を用いた電気生理学的
断法 -第5腰神経以外の障害診断への応用- . [整形外科](#) 62(13) : 1358-1361, 2011

50.

岩崎博、吉田宗人、南出晃人、中川幸洋、長田圭司：腰椎後方除圧術後に発熱、頸部痛で発症した ~~発症は~~ Hens syndrome
の 1 例 . [中部整災誌](#) 54(1) : 196 , 2011

51.

野村和教、貴志真也、吉田宗人：スポーツ整形外科術後リハビリテーション・プロ ~~外~~ 体のスポーツ損傷] 腰椎椎
間板ヘルニア . [臨床スポーツ医学](#)28(2) : 211-219, 2011.

52.

野村和教、吉田宗人、河合将紀、麻殖生和博、岡田基宏、中尾慎一：手術を要した未成年者の腰椎椎間板ヘルニアの臨床的
徴と、それらの症例に対する内視鏡下椎間板摘出術 (LD) の成績について . [J. Spine Res.](#) 2(3) : 490, 2011.

53.

野村和教、吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術 . [整形外科サージカルテクニック](#)28, 2011.

54.

野村和教、吉田宗人：スポーツ選手の腰椎椎間板ヘルニア 内視鏡下椎間板摘出術とリハビリテーション . [脊椎脊髄](#)
24(9) : 873-878, 2011.

55.

坂田亮介、南晋司、宮崎展行、三宅悠介、久保井勇樹、吉田宗人：人工股関節置換術が膝関節アライメントにあたる影響

56.

Tsutsui S, Pawelek JB, Bastrom TP, Shah SA, Newton PO. : [Do Discs “Open” Anteriorly with Posterior-only Correction of Scheuermann’s Kyphosis?](#) . Spine (Phila Pa 1976) 36(16) : E1086-92 , 2011

57.

Newton PO, Farnsworth CL, Upasani VV, Chambers RC, Varley E, Tsutsui S. : [Effects of intraoperative tensioning of an anterolateral spinal tether on spinal growth modulation in a porcine model.](#) Spine (Phila Pa 1976) 36(2) : 109-17, 2011

58.

宮崎展行、三宅悠介、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、谷口亘、峰巨、中谷匡登、吉田宗人：人工関節置換術における術中監
培養は有用か？ . 日本骨・関節感染症学会雑誌:31-33,2011

59.

宮崎展行：前腕骨骨幹部骨折に対するIPO . 整形外科最小侵襲手術ジャーナル60:27-33,2011

60.

宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、神埜聖治、谷口亘、吉田宗人における Exeter と
C-stem のアライメント比較検討 .Hip Joint 37; 541-544-197, 2011

61.

宮崎展行、南晋司、坂田亮介、三宅悠介、吉田宗人：術前術後アンケートによる評価 .中部日本整形外科災害外科学
会雑誌 54(3);601-602,2011

62.

納田和博、松崎交作、平一裕、山崎悟、勝田紘史、西山強直股に対してTwo-incision approach による人工股関節
全置換術を施行した2例 . Hip Joint Vol. 37 : 612-616 , 2011

63.

高見正成、納田和博、阪中淳也、中村正亨、吉田宗人：高エネルギー外傷における全脊柱CTの有用性 . 臨床整形外科
46 (1) 17-23 , 2011

64.

高見正成、西秀人、岩崎博、納田和博、吉田宗人：高エネルギー外傷におけるlag spine の検討 . 中部日本整形外科
災害外科学会雑誌 54(1)193-194, 2011

65.

高見正成、山田 宏、吉田宗人、西 秀人、納田和博： Vertebroplasty と instrumentation without fusion 法による胸腰椎
破裂骨折の治療 . 第22回腰痛シンポジウムvideo による各種腰椎手術の披歴 講演記録集 . P111-120, 2011

66.

金川建彦 中川幸洋、木下裕文、平野三好、大宝英矢、吉田宗人：両側発生の腰椎椎間関節嚢腫に対し内視鏡下片側進入両側
摘出術を行った1例 . 臨床整形外科 46(7) : 675-679, 2011

67.

岩田勝栄、北野陽二：橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートの抜釘の必要性についての検討28(四)手会誌
1-4 , 2011

68.

- Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Yamada H, Takeda D, Fujita T, Kumamoto E, Yoshida M : In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic antinociceptive actions on substantia gelatinosa neurons in the spinal cord. Pain 152 : 95-105, 2011
69.
Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Takiguchi N, Sugiura Y, Yoshida M : In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic antinociceptive actions on dorsal horn neurons in the spinal cord. Pain Research 26 : 137-144, 2011
70.
Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Abe T, Mine N, Takiguchi N, Yamada H, Yoshida M : In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic descending inhibitory pathway in the spinal dorsal horn. ScienceMED 2(2) : 137-142, 2011
71.
Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Abe T, Mine N, Fujita T, Kumamoto E, Yoshida M : In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic nervous system in spinal substantia gelatinosa neurons. The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord 32 : 10-16, 2011
72.
谷口亘、中塚映政、瀧口登、海戸弥恵、西尾尚子、吉田宗人：下行性疼痛抑制系として作用する脊髄内ドーパミン作動神経 - in vivo patch-clamp 法を用いた解析，日本運動器疼痛学会誌3 : 36-40, 2011
73.
西山大介 浜崎広洋 栗本公博 松本卓二 下江隆司 寺口真年: 伸展位上膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験 . 中部日本整形外科学会雑誌54(3) : 501-502, 2011
74.
西山大介 , 浜崎広洋 , 松本卓二 , 下江隆司 , 寺口真年 : 上膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験 . 和歌山医学 62(2) : 53-54, 2011
75.
橋本忠晃、谷口泰徳、北野岳史、下江隆司、吉田宗人：橈骨遠位端骨折後の尺骨頭掌側脱臼に合併した多発性屈筋腱皮下断の1例 . 整形外科 62(6) : 531-533, 2011.
76.
下江隆司、谷口泰徳、岩田勝栄、浅井宣樹、山中学、吉田宗人：遊離複合肩甲皮弁移植を行った前腕部広範囲全周性皮膚軟組織欠損の1例 . 日本マイクロ会誌4 : 48-51, 2011
77.
下江隆司、谷口泰徳、辻本修平、浅井宣樹、吉田宗人：足趾骨折に合併したgeodic diseaseの1例 . 日足外会誌 32 : 185-188, 2011
78.
下江隆司、谷口泰徳、北野岳史、山中学、辻本修平、吉田宗人：片側肥大症に発生した手根管痙攣群の1例 . 日本整形外科学会雑誌 54 : 317-318, 2011
79.
下江隆司、谷口泰徳、山中学、吉田宗人：片側肥大症に合併した手根管症候群の1例 . 日本整形外科学会雑誌 31(10) : 723, 2011
80.
浅井宣樹、谷口泰徳、下江隆司、辻本修平、吉田宗人：末梢神経針刺し損傷例の検部整災誌 54(5) : 1063-1064, 2011.
81.
瀧口登、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長

- 田圭司、籠谷良平： JOABPEQ からみた脊椎内視鏡手術 遠方から来院する患者の検討 . Journal of Spine Research2(3):758,2011
82.
瀧口登、宮崎展行、大宝英矢 綿貫匡則、山田宏、吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症 (L5 神経根症状)との鑑別に苦慮した化膿性仙腸関節炎の1 例 . 整形外科 62(3) 245-248(2011.03)
83.
籠谷良平、中谷如希、林未統、直川祐樹、福井大輔、吉田宗人：創外固定を使用した小児上腕骨顆上骨折の治療経験 整災誌 54(5) : 939-940 , 2011
84.
籠谷良平、宮崎展行、岩崎博、南晋司、綿貫匡則、吉田宗人：FDG-PETが発見に有用であった頸椎化膿性脊椎炎の例 . 整形・災害外科54(10) : 1317-1320 , 2011
85.
[籠谷良平](#) : JOABPEQ からみた脊椎内視鏡手術 遠方から来院する患者の検討 . [Journal of Spine Research](#)2(3):758,2011
86.
寺口真年、松本卓二、西山大介、下江隆司、浜崎広洋：大腿骨転子部骨折に対するtrochanteric antegrade nail の使用経験 . 整形外科62(7) : 623-626 , 2011
87.
寺口真年、松本卓二、西山大介、浅井宣樹、下江隆司、浜崎広洋：強直性脊椎炎に伴う頸椎骨折に対し、切り絵法を応用した方固定術を施行した2 例 . 中部整災誌4 : 797-798 , 2011
88.
山中学、[谷口泰徳](#)、[北野岳史](#)、[下江隆司](#)、[曾根勝真弓](#)、[吉田宗人](#)：高齢者巨趾症の 1 例 . [日本形成外科学会会誌](#) 31(10):723,2011
89.
久保井勇樹、[谷口泰徳](#)、[中谷匡登](#)、[岩田勝栄](#)、[吉田宗人](#)：後脛骨筋腱鞘炎の1 例 . [和歌山医学](#) 62(2):57,2011
90.
久保井勇樹、[下藺英史](#)、[岡安勤](#)：幼児期側彎症の 例 . [近畿小児整形外科](#) 23: 63-65,2011
91.
久保井勇樹、[南晋司](#)、[坂田亮介](#)、[宮崎展行](#)、[三宅悠介](#)、[吉田宗人](#)：腫瘍用人工膝関節にて0年以上経過した3 症例 . [JOSKAS](#)36(4):118,2011
92.
辻本修平、谷口泰徳、岩田勝栄、中谷匡登、北野岳史、吉田宗人：膝蓋骨骨折術後の皮膚壊死に対して上外側膝動脈皮弁による再建を行った 1 例 . 中部整災誌 54(3) : 573-574,2011
93.
井口智揮、中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦：プロスポーツ選手の頸髄症に対する後方内視鏡下除圧術の経験 . [臨整外](#) : 1055 , 2011
94.
曾根勝真弓、中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、木岡雅彦：脊髄症を呈する頸椎椎間板ヘルニアに対して内視鏡下頸椎後方除圧術を行った例 . [臨整外](#) 46 (3) 275-279. 2011
95.
原田悌志、谷口泰徳、吉田宗人：指神経内ガングリオン例 . 整形外科62(10) : 1089-1091 , 2011

その他の論文 (症例報告等)

医療新聞

1. 三宅悠介 : TKA術後の満足度はADLよりも疼痛改善に起因 . Medical Tribune . 2011.5.26 掲載

学会報告

a) 国際学会

1. Yoshida M: Microendoscopic Laminoplasty for Cervical Spondylotic Myelopathy-A Novel Technique and Clinical Results. 4th ISMISS Congress in Turkey on Minimal Invasive Spine Surgery and Interventional Treatments. 2011.4.1-3,Antalya, Turkey
2. Yoshida M:Cervical Myelopathy Symposium Posterior Approach. 1st Asian Congress of Minimally Invasive Spine Surgery & Techniques Shanghai International Convention Center, 2011.5.5-7, Shanghai, China
3. Yoshida M: Microendoscopic Laminoplasty for Cervical Spondylotic Myelopathy-A Novel Technique and Clinical Results. PASMIS 2011, Lotte Hotel, 2011.8.18-20,Busan Korea
4. Yoshida M:Microendoscopic laminoplasty for lumbar canal stenosis - surgical procedure and clinical results.The 6th International Congress of Chinese Orthopaedic Association, China National Convention Center Grand Hotel, 2011.12.1-4,Beijing, China
5. Yoshida M: MIS-Lumbar Decompression for Canal Stenosis. APOA SPINE OPERATIVE COURSE, The Xijing Orthopaedic Hospital, 2011.10.20-22,Xian, China
6. Taniguchi Y, Shimoe T,Asai Y,Tsujimoto S, Yamanaka M, Yoshida M:Superior Lateral Genicular Artery (SLGA) Flap for Coverage of Soft Tissue Defect in the Knee. Pre 6th Congress of the World Society for Reconstructive Microsurgery, June 25-27,2011,Bucharest Romania
7. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H:The double-crush syndrome of the 5th lumbar spinal nerve as a cause of failed back surgery.The International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2011.6.15-18, Gothenburg
8. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H:Efficacy of novel minimally invasive surgery using spinal microendoscope for treating extraforaminal stenosis at the lumbosacral junction . The International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2011.6.15-18, Gothenburg
9. Hashizume H, Yoshida M, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Kioka M: Did the pathogen identification contribute to the treatment course in the pyogenic spondylitis? Symposium: Spinal Infections. The 8th Combined Congress of the Spine and Pediatric Sections, Asia Pacific Orthopaedic Association, 2011. 6, Gifu
10. Hashizume H, Kawai M, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M: A tandem spinal endoscopic operation for the lumbar spine. The 11th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2011. 8, Busan
11. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Kawai M, Tsutsui S. Comparative study of clinical outcomes on sagittal balance after decompression surgery with or without fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis. The 8th Combined Congress of the Spine and Pediatric Sections, Asia Pacific Orthopaedic Association (APOA, Spine and Pediatric Sections 2011), June 1-4, 2011, Gifu, Japan.
12. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kawai M. Comparative study of clinical outcomes on sagittal balance after decompression surgery with or without fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis. 38th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. June 14-18, 2011, Gothenburg, Sweden.
- 13.

Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Kawai M, Tsutsui S, Okada M, Okada, Kioka M, Ishimoto Y, Nagata K. Clinical outcomes more than 5 years after microendoscopic decompression surgery without fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis. 38th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. June 14-18, 2011, Gothenburg, Sweden.

14.

Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S. Clinical outcomes more than 5 years after microendoscopic decompression surgery without fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis. 11th Annual Meeting of Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery. August 18-20, 2011, Busan, Korea.

15.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Kioka M, Ishimoto Y, Nagata K : Regression of herniated disc following posterior cervical microendoscopic laminoplasty in cervical myelopathy patients . 2nd Cervical Spine Research Society –Asia Pacific, 2011. 4.28-30, Busan, Korea

16.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Nishi H : Microendoscopic Posterior Foraminotomy for Cervical Radiculopathy-novel technique and its clinical outcomes- . 2011 Annual meeting of the society for minimally invasive spine surgery, 21-23, Oct, Las Vegas, USA

17.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S:Regression of herniated/bulged disc following posterior cervical microendoscopic laminoplasty (PCMEL) in cervical myelopathy patients . 2011 Annual meeting of the society for minimally invasive spine surgery, 21-23, Oct, Las Vegas, USA

18.

Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Kioka M, Iguchi T : Microendoscopic Posterior Foraminotomy for Cervical Radiculopathy . The 11th annual meeting Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 18-20 Aug, Busan, Korea

19.

Minami S, Kounami S, Sakata R, Miyazaki N, Watanuki A, Yoshida M: Chondrosarcoma of sacrum presenting with a deep vein thrombosis.J Orthop Sci. 16(4): 482-6. 2011

20.

Yamazaki S, Sasaki S, Kanno S: Arthroscopic anterior cruciate ligament partial reconstruction with preservation of remnant bundle, by minimally invasive technique. The SICOT 2011 XXV Triennial World Congress, 2011.9. Prague, Czech Republic

21.

Yamazaki S, Ando M, Sasaki S, Maio K, Kanno S: Usefulness and pitfall of intraoperative spinal cord monitoring. The SICOT 2011 XXV Triennial World Congress, 2011.9. Prague, Czech Republic

22.

Tsutsui S, Watanuki A, Yamada H, Nagata K, Ishimoto Y, Enyo Y, Yoshimura N, Yoshida M : Risk Factors and Natural Course of De Novo Degenerative Lumbar Scoliosis in a Community Based Cohort . The Miyama Study. 46th Scoliosis Research Society 2011. Jun. 14-17, Louisville, Kentucky, USA

23.

Kioka M, Yoshida M, Imanishi K, Mori M, Minato K, Takahashi T, Nakagawa Y, Minamide A, Kawai M, Yamada H : Intra-and-preoperating support in the Microendoscopic spine surgery - Surgical Navigation System and interactive bone drilling tool – The 11th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2011.8, Busan, Korea

24.

Taniguchi W, Nakatsuka T, Takiguchi N, Miyazaki N, Yamada H, Yoshida M : In Vivo Patch-Clamp Analysis of Dopaminergic Antinociceptive Actions in the Spinal Cord. 56th Annual Meeting of ORS, 2011.1, Long Beach

25.

Taniguchi W, Takiguchi N, Kaito Y, Nishio N, Kawasaki Y, Miyazaki N, Yoshida M, Nakasuka T : Dopaminergic inhibitory descending pathway is activated by electrical stimulation of A11 in the hypothalamus. -in vivo patch-clamp analysis-. 41th Annual Meeting of Neuroscience, 2011. 11, Washington D.C.

26.

Nagata K, Yoshimura N, Muraki S, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Yoshida M : 1Department of Orthopedic Surgery, Wakayama University, Wakayama, Japan , 2Department of Joint Disease Research, 22nd Century Medical and Research Center, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

27.

Nagata K : Prevalence of cervical cord compression and its relations to physical signs and performances in a Japanese population-based cohort . The ROAD-MRI Study APOA 2011 , 2011.6.24 , Gifu, Japan

28.

Nagata K : Prevalence of cervical cord compression and its relations to physical signs and performances in a Japanese population-based cohort: The ROAD-MRI Study CSRS 2011, 2011,12.8-10 , Scottsdale, Arizona, USA

29.

Shimoe T , Taniguchi Y , Asai Y , Tsujimoto S , Yoshida M : A Case Report of Microgeodic Disease after Fracture of the Toe. The 8th combined Congress of the Spine and Pediatric Sections, Asia Pacific Orthopaedic Association,2011.6.2. Gifu

30.

Shimoe T , Taniguchi Y , Kitano T , Asai Y , Tsujimoto S , Yoshida M : A Case Report of Microgeodic Disease after Fracture of the Toe. 4th Meeting of International Federation of Foot & Ankle Societies,2011.9. Nara

31.

Teraguchi M, Matumoto T, Nishiyama D, Hamazaki H : Treatment of the femoral trochanteric fracture using Intertrochanteric Antegrade Nail . SICOT 2011 XXV Triennial World Congress , 2011.9 , Prague, Czech Republic

32.

Iguchi T, Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Kioka M : Cervical Microendoscopic Sugery for Professional Athlete. The 11th annual meeting Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 18-20 Aug, Busan, Korea

b) シンポジウム , 学術講演等

1. 吉田宗人 : 脊椎手技 私の工夫—狭窄症に対する後方内視鏡下手術 回 關東整形災害外科学会および 關東日本整形災害外科学会,2011.9, つくば市
2. 吉田宗人 : 低侵襲脊椎外科手術の正義を考える—内視鏡脊椎手術の立場か 回 第 本内視鏡低侵襲脊椎外科学会学術集会 2011.11, 神戸市
3. 吉田宗人 : 内視鏡脊椎手術における SONOPET MSL ハンドピースの有用性 . 第 18 回日本脊椎・ 脊髄神経手術手技学会 2011.9, 千葉市
4. 吉田宗人 : 脊椎内視鏡手術—この年の進歩と今後の展望— 堺市医師会整形外科医会学術講演会 , 2011.2, 堺市
5. 吉田宗人 : 脊椎内視鏡手術—この年の進歩と今後の展望— 奈良県臨床整形外科医会研修会 2011 , 2011.4, 奈良市
6. 吉田宗人 : 脊椎内視鏡手術 - この年の進歩と今後の展望 - 平成 23 年鹿児島整形外科教育研修会 ,2011.6, 鹿児島市
7. 吉田宗人 : 腰部神経根障害の多様性と内視鏡的アプローチ 第 23 回徳大脊椎外科カンファレンス Q11.8, 徳島市
8. 吉田宗人 : 超音波骨メスを用いた脊椎内視鏡手術の実際 第 6 回整形外科ビジュアルフォーラム 2011.8, 大阪市

9. 吉田宗人：内視鏡下脊椎後方手術におけるVRの可能性．第11回日本VR医学会学術大会 奈良先端科学技術大学院大学，2011.8, 生駒市
10. 吉田宗人：腰部神経根障害の多様性と内視鏡的アプローチ．京滋整形外科フォーラム1, 京都市
11. 吉田宗人，山田宏，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，峠康：脊椎内視鏡手術，股関節鏡，手関節鏡実習 歌山県立医科大学整形外科学教室 脊椎内視鏡 cadaver seminar 2011 . 2011.2, 和歌山市
12. 吉田宗人，中川幸洋，河合将紀，豊根知明，蜂谷裕道，佐藤公治：腰椎模型を用いた脊椎広報内視鏡手術 実習．第2回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー .2011.6, 和歌山市
13. 谷口泰徳，下江隆司，浅井宣樹，辻本修平，山中学，吉田宗人：高齢者Lock 病の治療法の選択．第4回日本手外科学会学術集会 サテライトシンポジウム，2011.8, 青森市
14. 谷口泰徳：Thomas King が行ったKing 法．第23回日本肘関節学会学術集会 ,2011.2, 東京
15. 谷口泰徳：根管開放術従来法における再手術症例の検討 第28回中部日本手の外科研究会 ,2011.1, 北九州市
16. 安藤宗治，玉置哲也，麻殖生和博，高見正成，神埜聖治，吉田宗人：術中モニタリングで頸椎椎板切除術後可能か．第0回日本脊椎脊髄病学会 2011.4 . 東京
17. 伊藤全哉，松山幸弘，四宮謙一，安藤宗治，里見和彦，谷俊一，石黒直樹：術中脊髄モニタリングを用いた椎板切除術の有用性 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査．第0回日本脊椎脊髄病学会 2011.4 . 東京
18. 安藤宗治，玉置哲也，神埜聖治，峠康：脳刺激・筋誘発電位を用いた頸椎後方手術後上肢麻痺の検討 第0回日本臨床神経生理学会 2011.11 . 静岡
19. 安藤宗治：当センターで施行した頸椎手術と安全対策 第08回 WCOA 研修会，2011.11 . 和歌山
20. 山田宏：MEDによる脊柱管狭窄症（脊柱管内）の除圧手術 第22回腰痛シンポジウム，2011.3 . 東京
21. 山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，木岡雅彦，石元優々，長田圭司，瀧口登，籠谷良平：椎内視鏡による椎間板ヘルニア、狭窄症の手術手技の実際と治療成績 第0回日本整形外科学会学術総会，2011.5.12-15, 東京
22. 山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二：腰椎椎側病変に対する脊椎内視鏡下手術の実際と治療成績，第46回日本脊髄障害医学会 2011.11.18-19, 泉佐野市 関西空港会議場
23. 山田宏：腰椎外側病変の診断と治療 第7回山形脊椎懇話会，2011 . 2.5 . 山形市
24. 山田宏：腰部脊柱管狭窄症の早期診断・治療の重要性 ISTO-project” の実施方法について- . 腰部脊柱管狭窄フォーラム 和歌山 2010, 2011.2.10 . 和歌山市

25.

山田宏：腰椎外側病変の診断と治療 2 編大阪脊椎倶楽部，2011.2.25 . 大阪

26.

山田宏：腰部椎間孔部狭窄に対する診断 . 第 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2011.6.24 . 和歌山市

27.

山田宏：第 5 腰神経のダブルリージョンに対する脊椎内視鏡を用いた治療戦略 . 日本脊椎脊髄病学会 第 9 回脊椎脊髄病研修コース
2011.7.3 . 神戸市

28.

山田宏：脊椎内視鏡手術の実際と展望 .1 編奈良鏡視下手術スキルアップセミナー2011.8.27 . 奈良市

29.

山田宏：“なぜ、腰椎手術は失敗するのか？” - 成功するための新知見 - . 下関脊椎カンファレンス2011.12.8 . 下関市

30.

橋爪洋：運動プログラムによる腰痛の予防、改善の効果について . 橋本市介護予防のまちづくり講演会 2011.11.23 . 橋本市

31.

橋爪洋：腰痛のお話—健康長寿を目指すために— . 平成年度介護予防講座 (有田川いきいき元気あつぷ講座2011.1.2. 有田川町

32.

橋爪洋：高齢者の腰痛，膝痛と運動機能 (基調講演) . 和歌山県医師会整形外科部会・外科部会・内科医会合同学術講演会運動器疾患
フアレンス2011 in 和歌山，2011.6. 和歌山市

33.

橋爪洋：整形外科領域における神経障害性疼痛へのアプローチ . 三医師会 (田辺市・日高・西牟婁郡医師会) 学術講演会
2011.11.10 . 田辺市

34.

橋爪洋：腰痛とその予防について—健康長寿を目指すために— . 和歌山県社会福祉協議会 介護予防普及啓発・促進支援講座 (腰痛予
防と運動) 2011.8. 2011.10. 海南市

35.

橋爪洋：ロコモティブシンドロームの実態とビデオ体操プログラム . 大阪臨床整形外科医会研修会，2011.10. 大阪市

36.

橋爪洋：腰痛の原因と対策 . 那賀地域・職域連携推進協議会リーダー講習会 .10. 岩出市

37.

橋爪洋：ロコモティブシンドロームと運動—健康長寿を目指すために— . 和歌山県「整形外科」記念行事「骨と関節の田」講演会，
2011.10. 和歌山市

38.

橋爪洋：腰痛とその予防について . 生き生き健康づくり「みはま学園」講座 (介護予防学習) 2011.11. 美浜町

39.

南出晃人、吉田宗人、岡田基宏、野村和教、左海伸夫、麻殖生和博：若年スポーツ選手の腰部椎体終板障害に対する脊椎内視鏡手術
22回日本臨床スポーツ医学会学術集会2011.11.5. 青森市

40.

Minamide A. The 8th Combined Congress of the Spine and Pediatric Sections, Asia Pacific Orthopaedic Association (APOA, Spine
and Pediatric Sections 2011), Moderator. June 1-4, 2011, Gifu, Japan.

41.

南出晃人：「頸椎病変 2」座長 . 第46回日本脊髄障害医学会 2011.11.18. 泉佐野市

42.

- 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 河合将紀: 頸椎神経根症に対する後方内視鏡下椎間孔拡大術の治療成績. 第
中部日本整形外科災害外科学会学術集会, 11.10.28-29, 宇部市
43.
中川幸洋: 頸椎症性神経根症に対する内視鏡下後方手術 5 冊 NSG 頸椎セミナー, 2011.2.11 .名古屋市
44.
中川幸洋: 腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術- 片側進入両側除圧のポイント . 第 2 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セ
ミナー, 2011.6.24 .和歌山市
45.
中川幸洋 手術手技レクチャー 腰椎内視鏡手術 腰部脊柱管狭窄症 内視鏡下腰椎後方除圧術 (脊柱管内除圧) 2 冊和歌の
浦低侵襲脊椎外科セミナー, 2011.6.25 .和歌山市
46.
中川幸洋: MED 法の pros & cons . 日本脊椎脊髄病学会 第 9 回脊椎脊髄病研修コース, 2011.7.3 .神戸市
47.
中川幸洋: Iliac screw を用いた脊柱再建 . Synthes Spinal deformity seminar , 2011.7.9 , TKP 品川カンファレンスセンター . 東
京
48.
中川幸洋: 「腰痛について腰痛の最新の治療」第 3 回最新の医療カンファレンス, 2011.7.14 .和歌山市
49.
中川幸洋: 高齢者の腰部脊柱管狭窄症患者に対する後方内視鏡手術 . 第 11 回 Advanced Technologies in Spinal
Treatment(ATST) , 2011.7.23-24 .東京
50.
中川幸洋: 頸椎変性疾患に対する脊椎内視鏡下手術 . 5 冊大阪南整形外科フォーラム, 2011.11.5 .大阪
51.
南晋司, 吉田宗人: リウマチ股関節病変に対する人工関節置換術 回覧三井寺リウマチセミナー, 2011.6.25-26 .和歌山市
52.
南晋司: 骨軟部腫瘍および鑑別を要する骨関節疾患の画像診断 7 冊 和歌山臨床整形外科医会研修会, 2011.4 .和歌山市
53.
南晋司: 整形外科における関節リウマチの治療 1 冊 阪和リウマチ Nurse Seminar , 2011.11 .泉佐野市
54.
西秀人: 救命救急センターにおける整形外科診療 10 第 回和歌山臨床整形外科医会研修会, 2011.4 .和歌山市
55.
岩崎博, 吉田宗人, 山田宏: 「腰椎外側病変の診断と治療」 腰椎外側病変に対する電気生理学的機能診断 . 第 46 回日本脊椎障害医学
会, 2011.11. 大阪
56.
筒井俊二, 綿貫匡則, 山田宏, 長田圭司, 石元優々, 延與良夫, 吉村典子: 徳島県民コホートをを用いた腰椎変性側弯新規発生例
の前向き研究 - 側弯発生の危険因子と自然経過について 第 40 回日本脊椎脊髄病学会, 2011.4 .東京
57.
中根康博: 鏡視下腱板修復術の現状と私の手術方法 TEK セミナー, 2011.1.29 , 大阪市中央区エプソンビル 7F
58.
中根康博: ラグビーの外傷対策 . 和歌山ラグビーフットボール協会主催指導者講習会, 10 , 和歌山
59.
中根康博: 当院での腱板断裂治療 . 第 回関西肩コラボレーションミーティング, 11.9.3 , 大阪

60.

中根康博：球関節を考える .REACH ワークショップセミナー 2011.4.10 ,大阪

61.

中根康博：スポーツ指導者に必要な医学的知識 .日本体育協会主催 和歌山県スポーツ指導者講習会, 2011.10.16 ,和歌山市

62.

中根康博：スポーツ指導者に必要な医学的知識 .日本体育協会主催 和歌山県スポーツ指導者講習会, 2011.10.30 ,田辺市

63.

中根康博：球関節の診かた考え方 (肩関節、股関節)0 回第 Sports Medicine Conference 2011 , 2011.12.18 ,大阪

64.

高見正成：Vertebroplasty と instrumentation without fusion 法による胸腰椎破裂骨折の治療 . 第 2 回腰痛シンポジウム,2011.3 .
東京

65.

大宝英矢：膝関節の痛みについて . 橋本市市民病院健康セミナー,2011.1.26 .和歌山

c) 全国学会

1. 谷口泰徳、下江隆司、辻本修平、山中学、吉田宗人：上外側膝動脈皮弁による治療を行った膝下切断端難治性潰瘍の検討 . 第 10 回日本形成外科学会学術集会 2011.4 .徳島市
2. 谷口泰徳：King 法と King 変法、どっちが本当の King 法? . 第 54 回日本手の外科学会, 2011.4 .青森市
3. 谷口泰徳、下江隆司、山中学、吉田宗人：手根管症候群を発症した Lock 病 . 第 84 回日本整形外科学会, 2011.5 .横浜市
4. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、高見正成、神埜聖治、吉田宗人：MsEP を用いた頸椎手術の術中モニタリングにおけるコントロールの検討 . 第 40 回日本脊椎脊髄病学会 2011.4 .東京
5. 伊藤全哉、松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、里見和彦、谷俊一、石黒重徳：頸椎モニタリングにおける新しいアラームポイントの策定 . 日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査 . 第 84 回日本整形外科学会, 2011.5 .横浜
6. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、神埜聖治、峠康：ロッドシステムを用いた後頭骨・頸椎・胸椎固定の検討 . 第 6 回日本脊髄障害医学会, 2011.11 .泉佐野
7. 山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平：腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡を用いた非固定・除圧単独手術の中期臨床成績 . 第 40 回日本脊椎脊髄病学会 2011.4.21-23 ,東京
8. 山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平：腰仙椎管症候群 - 新しい疾患概念と手術術式の提案 . 第 40 回日本脊椎脊髄病学会 2011.4.21-23 ,東京
9. 山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平：腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡手術の中期臨床成績 . 第 84 回日本整形外科学会学術総会, 2011.5.12-15 ,東京
10. 山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平、寺口真年：脊椎内視鏡は腰椎外側病変手術における医原性不安定症を回避できるか? . 第 14 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会, 2011.11.25-26 ,神戸市
11. 槻浩二、戸田佳孝、月村規子、増田研一：変形性膝関節症患者に対するロフトランド杖の効果 . 第 10 回日本整形外科学会学術集会 2011 . 5 .横浜
12. 橋爪洋、吉田宗人、西秀人、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司：化膿性脊椎

おける起因菌同定は治療経過に影響を及ぼしたか？ 第 84 回日本整形外科学会学術総会 2011. 5. WEB 開催

13.

橋爪洋、吉田宗人、長田圭司、宮崎展行、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、石元優々、吉村典子：高齢者運動疾患（腰痛・転倒）予防のためのビデオ体操プログラムの開発 日本脊椎脊髄病学会 2011, 4-5. WEB 開催

14.

橋爪洋、吉田宗人、西秀人、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠平：化膿性脊椎炎における起因菌同定は治療経過に影響を及ぼしたか？ 第40回日本脊椎脊髄病学会 2011, 4-5. WEB 開催

15.

峠康：筋電図パワースペクトル解析を用いた健常高齢者の腰背部筋疲労特性 日本リハビリテーション医学会学術集会 11.11. 千葉

16.

松本卓二、西山大介、寺口真年、浅井宣樹、浜崎広洋：大腿骨近位部骨折 大腿骨転子部骨折における髓内釘の術後スライディング量について- Gamma 3、MultiFix、PFNA、InterTAN における比較検討。第 37 回日本骨折治療学会、2011.7 横浜

17.

松本卓二、西山大介、寺口真年、浅井宣樹、浜崎広洋：上膝蓋アプローチを用いた脛骨髓内釘の治療経験-従来法との比較と新しい挿入器具の開発。第 37 回日本骨折治療学会、2011.7 横浜

18.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、西秀人：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術の臨床成績 5 年以上の長期臨床成績。第 84 回日本整形外科学会学術総会 2011. 5. 12-15. Web 開催

19.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、川上守、安藤宗治：腰椎変性すべり症に対する非固定術と固定術の前向き研究 内視鏡下除圧術と固定術の臨床成績 日本脊椎脊髄病学会 2011. 4. 21- 5. 9. Web 開催

20.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登：頸椎疾患手術の適応と問題点 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎除圧術の臨床成績。第 40 回日本脊椎脊髄病学会。2011. 4.21- 5. 9. Web 開催

21.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術の長期成績- 5 年以上の臨床成績 第 14 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 011. 11. 25-26. 神戸

22.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登：腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術の長期成績 5 年以上経過症例の検討。第 40 回日本脊椎脊髄病学会 2011.4.21-23, 東京

23.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登：頸椎症性脊髄症に対する後方内視鏡下除圧術後の椎間板の退縮について 第 40 回日本脊椎脊髄病学会 2011.4.21-23, 東京

24.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登：腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術の長期成績- 術後 5 年以上経過症例について。第 84 回日本整形外科学会学術総会、2011.5.12-15, 東京

25.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、西秀人、遠藤徹：頸椎神経根症に対する後方内視鏡下椎間

孔拡大術 . 第 14 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 2011.11.24.-25 , 神戸市

26.

中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 西秀人, 遠藤徹: 頸部脊髄症に対する後方内視鏡下手術の適応拡大について . 第14回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 2011.11.24.-25 , 神戸市

27.

南晋司, 坂田亮介, 宮崎展行, 三宅悠介, 中谷如希, 吉田宗人: 人工膝関節置換術における大腿骨後顆骨切り, コンポーネント設置後のアップの変化 . 第 41 回日本人工関節学会, 2011.2.25-26 . 東京

28.

南晋司 , 坂田亮介 , 宮崎展行 , 三宅悠介 , 吉田宗人: 腫瘍用人工膝関節にて 20 年以上経過した 3 症例 . 第 3 回 JOSKAS , 2011.6.16-18 . 札幌市

29.

南晋司 , 坂田亮介, 宮崎展行, 三宅悠介, 久保井勇樹, 吉田宗人: 人工膝関節置換術に対するondaparinux Enoxaparin 投与による静脈血栓症予防効果の比較検討 3 編 JOSKAS , 2011.6.16-18 . 札幌市

30. 南晋司, 三宅悠介, 坂田亮介, 宮崎展行, 吉田宗人: 膝関節外側滑液包より発生したlipoma arborescens の 1 例 . 第 44 回日本整形外科学

会骨軟部腫瘍学術集会, 2011 . 7 . 京都

31.

森信太郎, 吉田宗人, 河合将紀, 橋爪洋, 野村和教, 岡嶋啓一郎: MED法を用いて治療したガス含有腰椎椎間板ヘルニア3例. 第 14 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 2011.11.25 . 神戸

32.

野村和教, 吉田宗人, 河合将紀, 麻殖生和博, 岡田基宏, 中尾慎一: 手術を要した未成年者の腰椎椎間板ヘルニアの臨床的特徴と、それに対する内視鏡下椎間板摘出術(MED)の成績について . 第40回日本脊椎脊髄病学会 2011.4 . 東京

33.

野村和教, 吉田宗人: 若年性腰椎椎間板ヘルニアの臨床的特徴とその内視鏡下椎間板摘出術の成績について . 第22回日本小児整形外科学会学術集会, 2011.12 . 京都

34.

坂田亮介, 南晋司 , 宮崎展行 , 三宅悠介, 久保井勇樹 , 吉田宗人: 人工股関節置換術が膝関節アライメントにあたえる影響 . 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2011 . 6 . 札幌

35.

坂田亮介, 南晋司, 宮崎展行, 三宅悠介, 中村憲太, 吉田宗人: ステム破損をきたした腫瘍用人工関節の 1 例 . 第 14 回日本人工関節学会 2011.2.25-26 . 東京

36.

筒井俊二, 綿貫匡則, 山田宏, 長田圭司, 延與良夫, 吉村典子, 吉田宗人: 腰椎変性側弯の新規発生の危険因子 . 第 44 回日本整形外科学会学術総会, 2011.5 . 東京

37.

中根康博, 岩崎正文, 仲井間憲彦, 左海伸夫, 角谷昭一, 築瀬能三, 谷口亘, 三宅悠介, 吉田宗人: 若年者における腱板損傷が反復性肩前方不安定症の主要因と考えられた例 . 第 3 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2011.6.16 , 札幌

38.

中根康博, 岩崎正文, 仲井間憲彦, 左海伸夫, 角谷昭一, 築瀬能三, 谷口亘, 三宅悠介, 吉田宗人: Versalok anchor を用いた Knotless Cross Bridging Suture ARCR . 第 3 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2011.6.16 札幌

39.

貴志悠矢, 中根康博, 貴志真也, 川上基好, 柏木孝介, 左海伸夫, 角谷昭一: 野球選手の体幹回轉 . 第 44 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形

外科学会, 2011.6.16, 札幌

40.

川上基好、中根康博、貴志真也、柏木孝介、貴志悠矢、左海伸夫、角谷昭一：野球選手の体幹機能のシーズン変遷本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2011.6.16, 札幌

41.

柏木孝介、中根康博、貴志真也、川上基好、貴志悠矢、左海伸夫、角谷昭一：Arc 180度の法則とHIRの関係性。第3回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2011.6.16, 札幌

42.

貴志真也、中根康博、川上基好、柏木孝介、貴志悠矢、左海伸夫、角谷昭一：男子大学剣道選手の股関節機能と腰痛の関係。第3回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2011.6.16, 札幌

43.

宮崎展行、南晋司、坂田亮介、谷口亘、峰巨、三宅悠介、吉田宗人：人工股関節置換術に対する満足度調査-患者アンケートを用いて-。第10回日本股関節学会, 2011.10.7-8, 鹿児島市

44.

宮崎展行、三宅悠介、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、谷口亘、峰巨、中谷匡登、吉田宗人：人工関節置換術における術中監視培養は有用か。第34回日本骨・関節感染症学会, 2011.7.8-9, 淡路市

45.

宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、三宅悠介、中谷匡登、谷口亘、吉田宗人：TKA 脛骨コンポーネントの設置角度の検討。第10回 JOSKAS, 2011.6.16-18, 札幌市

46.

宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、吉田宗人：TKAにおけるステム前捻角は大腿骨髄腔を基準とした前捻角に近似するか。第84回日本整形外科学会学術総会, 2011.5.12-15, 東京

47.

宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、吉田宗人：TKAにおける側臥位での骨盤傾斜角は立位と臥位のどちらに近いのか。第41回日本人工関節学会, 2011.2.25-26, 東京

48.

宮崎展行、築瀬能三、南晋司、坂田亮介、山口耕史、舟津稔博、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、中村憲太、吉田宗人：当院における初回人工股関節置換術後感染の危険因子の検討。第41回日本人工関節学会, 2011.2.25-26, 東京

49.

木岡雅彦、今西勁峰、中尾恵、湊小太郎、佐藤省三、森正人、高橋隆、吉田宗人、南出晃人、籠谷良平、今中良一、高嶋伸幸、竹村知晃、井上陽次、高山強：脊椎内視鏡手術中ナビゲーションにおける磁気センサーを用いた鏡筒先端位置測定法の確立。第12回日本VR医学会学術大会, 2011.08, 生駒市

50.

岩田勝栄、北野陽二：橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレートの抜釘の必要性について。第10回日本整形外科学会web学術集会, 2011.5, 青森

51.

谷口亘、瀧口登、海戸弥恵、西尾尚子、川崎康彦、中塚暁：下部A11電気刺激によりドパミン作動性下行性抑制系は活性化するか。in vivo パッチクランプ法を用いた機能解析。第33回日本疼痛学会, 2011.7, 松山

52.

谷口亘、中塚映政、瀧口登、宮崎展行、阿部唯一、峰巨、吉田宗人：下部A11電気刺激によるドパミン作動性下行性抑制系の活性化機構。in vivo パッチクランプ法を用いた機能解析。第26回日本整形外科学会基礎学術集会, 11.10, 前橋

53.

- 中谷匡登，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，三宅悠介，吉田宗人：当院の骨セメント使用における循環動態と麻酔科医の意識 第
工関節学会，2011.2.25-26 .東京
54.
長田圭司，吉田宗人，橋爪洋，石元優々，山田宏，瀧口登，村木重之，岡敬之，阿久根徹，吉村典子：地域大規模住民調査における頸椎
MRI 所見とロコモティブシンドロームとの関係 the ROAD-MRI Study . 第 40 回日本脊椎脊髄病学会 2010.4.21 .東京
55.
長田圭司，吉田宗人，橋爪洋，石元優々，山田宏，瀧口登，村木重之，岡敬之，阿久根徹，吉村典子：地域住民におお画像診断
の検討：The ROAD-MRI Study，第 84 回日本整形外科学会学術総会，2010.5.12-15 .東京
56.
三宅悠介，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，綿貫匡則，中谷匡登，吉田宗人：術前術後を用いたTKA の満足度評価 . 第 1 回日本人
工関節学会，2011.2.25-26 .東京都
57.
三宅悠介，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，綿貫匡則，中谷匡登，吉田宗人：術前術後用いたTKA の満足度評価 - 術前術後の VAS を用いて - .
第 84 回日本整形外科学会学術総会 2011.5.12-15 .横浜
58.
三宅悠介，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，久保井勇樹，綿貫匡則，中谷匡登，吉田宗人：術前術後の VAS を用いて .
第 3 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)，2011.6.11-18 .札幌
59.
三宅悠介，坂田亮介，宮崎展行，南晋司，中根康博，築瀬能三，綿貫匡則，中谷匡登，谷口泰徳，吉田宗人：化膿性肩関節炎 10 例の治療経
験 . 第 34 回骨関節感染症学会，2011.7.8. ~ 9 .淡路
60.
三宅悠介，南晋司，坂田亮介，宮崎展行，谷口亘，峰巨，吉田宗人：肩甲下筋に生じた異所性骨化により肩関節外旋制限を認めた
38 回日本肩関節学会，2011.10.7 ~ 9 .福岡
61.
下江隆司，谷口泰徳，吉田宗人：片側肥大症患者に発生した線維脂肪性過誤腫を伴う手根管症候群の 4 回日本形成外科学会学術
集会，2011.4.13. 徳島
62.
下江隆司，谷口泰徳，吉田宗人：足趾骨折に合併した rhegoidic disease の 1 例 . 第 54 回日本形成外科学会学術集会 2011.4.13. 徳
島
63.
下江隆司，谷口泰徳，北野岳史，浅井宣樹，吉田宗人：手根管症候群における再手術症例の検討 第 54 回日本手外科学会学術集
会，2011.4. web 開催
64.
中村憲太，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，谷口亘，峰巨，三宅悠介，吉田宗人：人工股関節置換術における術中監視培養の有用性 . 第
日本股関節学会 2011.10.7-8 .鹿児島市
65.
中村憲太，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，三宅悠介，吉田宗人：人工股関節置換術後の長期脱臼に対して再置換術を施行した 1 例
日本人工関節学会，2011.2.25-26 .東京
66.
山中学，[谷口泰徳](#)，[北野岳史](#)，[下江隆司](#)，[浅井宣樹](#)：手根管症候群を発症した Kienbock 病 . 第 54 回日本手外科学会学術集
会，2011.4. web 開催
- 67.

辻本修平, 筒井俊二, 木岡雅彦, 山田宏, 吉田宗人: 頸椎椎弓形成術後に自然縮小した石灰化を伴う頸椎椎間板外ノ第二ノ四
脊髄障害医学会, 2011. 11 . 大阪

68.

久保井勇樹, 南晋司, 坂田亮介, 宮崎展行, 三宅悠介, 吉田宗人: 腫瘍用人工膝関節に20年以上経過した 3 症例 .第 3 回日本
関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会2011 . 6 . 札幌

69.

井口智揮, 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦: プロスポーツ選手に対
頸椎内視鏡手術 . 第7回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会011.9.23-24 , 福岡

70.

箕田行秀, 秦加奈子, 岩城啓好, 池淵充彦, 吉田拓, 宮崎展行, 三宅悠介, 平川和男, 辻耕三, 塚本理一郎, 中村博亮
cross-linked polyethylene の摩耗粉分析 . 第9回日本関節病学会, 2011.11.12-13 . 横浜市

71.

箕田行秀, 秦加奈子, 岩城啓好, 池淵充彦, 吉田拓, 宮崎展行, 三宅悠介, 平川和男, 塚本理一郎, 中村博亮
linked polyethylene の摩耗粉分析によるオステオライシス発生の予想38 第日本股関節学会, 2011.10.7-8 . 鹿児島市

72.

岡紗妃, 早川博子, 加藤佐和子, 高垣ヤス子, 宮崎展行: TKA 術後早期屈曲角度獲得が最終角度に及ぼす影響 . 第 3 回
JOSKAS , 2011.6.16-18 . 札幌市

d) 地方学会

1. 谷口泰徳: 肘部管症候群の外科的治療Thomas King が行った King 法 . 第 116 回中部日本整形災害外科学会学術集会11.4.
高知市

2. 安藤宗治, 玉置哲也, 麻殖生和博, 佐々木俊二, 川上守, 吉田宗人: 頸椎固定術に使用したinstrument の検討 . 第 116 回
中部日本整形外科災害外科学会2011.4 . 高知

3. 安藤宗治, 玉置哲也, 神埜聖治, 麻殖生和博, 佐々木俊二: 頸椎椎弓形成術に際し術中モニタリングを行った症例の検
討 . 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会2011.10 . 宇部

4. 山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀: L5-S1 椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡を用いた非固定・除圧単
手術の現状と工夫 . 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会2011.4.8, 高知市

5. 山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀: 圧迫部位別から見た第 腰神経根症の治療成績 . 第 117 回中部日本
整形外科災害外科学会, 2011.10.28-29, 宇部市

6. 橋爪洋, 吉田宗人, 吉村典子, 宮崎展行, 長田圭司, 石元優々, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二: 高齢
運動器疾患予防のための体操プログラムの開発 . 和歌山県整形外科学会学術集会 . 2011. 3. 和歌山市

7. 橋爪洋, 河合将紀, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人: 腰椎複数部位病変に対する脊椎内視鏡同時進行手術の有
用性 . 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会2011.4. 高知市

8. 橋爪洋, 宮崎展行, 長田圭司, 石元優々, 山田宏, 吉田宗人: 高齢者の腰痛、膝痛が運動能力に及ぼす影響17 回中部日
本整形外科災害外科学会 2011, 10. 宇部市

9. 南出晃人, 吉田宗人, 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋, 岡田基宏. : 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の年以上の
長期臨床成績 . 第116 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会11. 4. 7-8. 高知市

10.

南出晃人, 吉田宗人, 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋, 河合将紀: 頸部脊髄症患者における内視鏡下頸椎後方除圧術後の頸部軸性疼痛の
検討 . 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会11. 10. 28-29. 宇部市

11.

中川幸洋, 吉田宗人, 南出晃人, 河合将紀, 岩崎博, 長田圭司: 頸部脊髄症に対する後方内視鏡兼除圧のコンセプトと今後の

適応拡大 - . 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会011.4.7-8 , 高知市

12.

中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 筒井俊二, 石元優々: 腰部脊柱管狭窄症多椎間狭窄に対する選択的後方内視鏡手術6 篇中部日本整形外科災害外科学会学術集会011.4.7-8 , 高知市

13.

岩崎博 , 吉田宗人, 安藤宗人, 山田宏 橋爪洋: 腰椎椎間孔部狭窄症診断にお\$P\$-SNAPの有用性. 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会2011.10.28-29 , 宇部市

14.

岩崎博 , 吉田宗人, 山田宏 , 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司: 腰椎椎間孔部狭窄症に対する新しい電気生理学的診断~~経~~経以外の障害診断に応用可能か.? 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会011.4.7-8 , 高知市

15.

宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 峰巨, 谷口亘, 三宅悠介, 吉田宗人THA 感染後 resection arthroplasty に至った1 例. 第 19 回 Hip Forum , 2011.7.30 , 横須賀市

16.

宮崎展行, 築瀬能三, 南晋司, 坂田亮介, 山口耕史, 三宅悠介, 吉田宗人後早期再置換術に至った症例の検討 1 篇 回中部日本整形・災害外科学会 , 2011.4.6-8 , 高知市

17.

西秀人, 宮本選, 中敏夫, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将己, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅弘, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登, 吉田宗人: 強直性脊椎骨増殖症に発生した遅発性脊髄麻痺の 2 例. 和歌山救急医療研究会 2011.9.4 . 和歌山

18.

西秀人, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 木岡雅彦, 吉田宗人: 強直性脊椎骨増殖症に発生した脊椎骨折の治療経験. 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 , 2011.4.7-8. 高知市

19.

西秀人, 宮本選, 中敏夫, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将己, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登, 吉田宗人: 脊椎骨増殖症の脊椎骨折後に発生した遅発性脊髄麻痺の doctor's delay の問題点 - . 脊椎外科を学ぶ会 2011 . 9.17

20.

西秀人, 橋爪洋, 岩崎博, 山田宏, 吉田宗人: 大動脈損傷を合併した胸椎脱臼骨折例の第 117 回中部日本整形外科災害外科学会 2011.10.28-29, 宇部市

21.

三宅悠介, 南晋司, 坂田亮介, 宮崎展行, 吉田宗人: 肩甲骨前面に生じた巨大異所性骨化により外旋制限を認められた 回中部日本整形外科災害外科学会 2011.4.7. ~ 8 . 高知

22.

三宅悠介, 南晋司, 坂田亮介, 宮崎展行, 山中学, 吉田宗人: 肩甲骨前面に生じた異所性骨化により肩関節外旋制限を認めた 433 回整形外科集談会 京阪神地方会 , 2011.1.15 . 大阪市

23.

三宅悠介, 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 谷口亘, 峰巨, 坂田仁郎, 吉田宗人TKA の満足度評価. 第 79 回和歌山医学会総会 , 2011.7.11 . 和歌山市

24.

下江隆司, 中谷如希, 林未統, 直川裕樹, 岡田紗枝: キーンベック病に続発した伸筋腱皮層断裂の例 . 第 79 回和歌山医学会総会 , 2011.7.10. 和歌山

25.

- 下江隆司, 谷口泰徳, 辻本修平, 浅井宣樹, 吉田宗人: 手根管症候群で再手術を施行した症例の検討回中部日本整形外科災害外科学会 ,2011.10.28. 宇部
- 26.
- 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 後骨間皮弁による第一指間再建の経験7 回中部日本整形外科災害外科学会 ,2011.10.28. 宇部
- 27.
- 下江隆司, 谷口泰徳, 吉田宗人: 後骨間皮弁による第一指間再建の経験9回日本形成外科学会関西支部学術集巻11.12.3. 京都
- 28.
- 下江隆司, 中谷如希, 林未統, 直川裕樹, 岡田紗枝: Mycobacterium marinum 感染による手関節部屈筋腱鞘滑膜炎の例 . 第 21 回和歌山県整形外科医会,2011.3.6. 和歌山
- 29.
- 神埜聖治 安藤宗治、佐々木俊二、松本朋子、峠康、麻殖生和博、山崎悟、高見正成、太田泰宏、玉置哲也: 後頭骨頸椎胸椎後方固定術を施行した軸椎垂直脱臼の一例 . 第1回和歌山県整形外科医会 2011.3.6. 和歌山
- 30.
- 岡田紗枝, 中川幸洋, 山田宏, 南出晃人, 岩崎博, 岡田基宏, 石元優々, 吉田宗人: 骨粗鬆症性圧迫骨折後の高度後湾変形に対する後方一口一ちによる再建術の 1 例 . 整形外科集談会京阪神地方会 2010.06.19. 大阪
- 31.
- 岡田紗枝, 中谷如希, 林未統, 直川裕樹, 下江隆司: 大腿骨頭骨折を伴う股関節脱臼 例の治療経験 . 第 79 回和歌山医学総会, 2011.7.10
- 32.
- 岡田紗枝, 中谷如希, 林未統, 直川裕樹, 下江隆司: 外傷後肘関節拘縮に対し小皮切開による拘縮解離術を行った一例 . 和歌山最少侵襲外科学会, 2011.1
- 33.
- 籠谷良平, 山田宏, 筒井俊二, 吉田宗人: 止血機能異常症例に対する脊椎内視鏡手術の治療経験117 回中部日本整形外科災害外科学会 ,2011.10.28. 宇部
- 34.
- 寺口真年, 松本卓二, 西山大介, 浅井宣樹, 下江隆司, 浜崎広洋: 強直性脊椎炎に伴う頸椎骨折に対し、切り絵法を応用し後方固定術を施した 2 例 . 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会Q11.4.8 . 高知市
- 35.
- 寺口真年, 松本卓二, 西山大介, 三宅悠介, 浜崎広洋: 診断に難渋したため不帰の転帰に至った極めて稀な激症型細菌性関節炎の 1 例 . 和歌山医学学会, 2011.7.10 . 和歌山
- 36.
- 山中学, [谷口泰徳](#), [下江隆司](#), [辻本修平](#), [吉田宗人](#): 根管症候群を発症したKienbock 病 . . 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会 ,2011.10.28. 宇部
- 37.
- 山中学, [谷口泰徳](#), [浅井宣樹](#), [辻本修平](#), [吉田宗人](#): ガングリオンによる肩甲上神経麻痺の例 . . 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会 ,2011.10.28. 宇部
- 38.
- 山中学, [谷口泰徳](#), [吉田宗人](#), [北野岳史](#): 小皮切による手根管開放術後に再手術を行った1 例 . 第 79 回和歌山医学総会 ,2011.7.10. 和歌山
- 39.
- 山中学, [谷口泰徳](#), [北野岳史](#), [下江隆司](#), [吉田宗人](#): 長期間経過した高齢者巨趾症の例 . 第 116 回中部日本整形外科災害外科

学会， 2011.4 .高知

40.

中村憲太, [南出晃人](#), [西秀人](#), [中川幸洋](#), [山田宏](#), [橋爪洋](#), [岩崎博](#), [吉田宗人](#), [宇本麻衣子](#), [安藤竜起](#), [村田顕也](#), [近藤智善](#): Surfer's myelopathy の 1 例 . 第 116 回中部日本整形外科災害外科学会Q11.4.8 . 高知市

41.

中村憲太: THA 後に長期脱臼した 例 . 和歌山整形外科学会 2011.3. 和歌山

42.

中村憲太: Surfer's myelopathy の 1 例 . 第 435 回整形外科集談会京阪神地方会Q11.7. 大阪

43.

中村憲太: TKA 後に脛骨脆弱性骨折を来した 例 . 和歌山医学会総会2011.7. 和歌山

44.

中村憲太, 宮崎展行, 坂田亮介, 南晋司, 三宅悠介, 吉田宗人: 離断性骨軟骨炎と鑑別を要した condyle irregularity の 1 例 . 第 8 回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム , 2011.1.22 , 和歌山市

45.

辻本修平, 筒井俊二, 木岡雅彦, 山田宏, 吉田宗人: 頸椎椎弓形成術後に自然縮小した石灰沈着を伴う頸椎椎間板の例 . 第 2 回 434 回京阪神集談会 2011.3.19

46.

辻本修平, 谷口泰徳, 北野岳史, 山中学, 吉田宗人: 遠位尺関節症による稀な屈筋腱皮下断裂の例 . 和歌山県整形外科医会 2011.3.6. 和歌山

47.

辻本修平, [谷口泰徳](#), [山中学](#), [下江隆司](#), [吉田宗人](#): 月状三角骨解離に対し月状骨摘出術が有効であった . 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会Q11.10.28. 宇部

48.

辻本修平, 岡安勤, 下園英史: Down 症候群に合併した習慣性股関節に対し大腿骨内反骨切り術を施行した一例 . 回廊 小児整形外科懇話会 ,2011.8 大阪市

49.

久保井勇樹, [谷口泰徳](#), [中谷匡登](#), [岩田勝栄](#), [吉田宗人](#): 後脛骨筋腱鞘炎の 1 例 . 和歌山医学学会 , 2011.7.10 . 和歌山

50.

岩橋弘樹, [谷口泰徳](#), [辻本修平](#), [吉田宗人](#): 滑膜性腫瘍による手根管症候群の一例 . 第 117 回中部日本整形外科災害外科学会 ,2011.10.28. 宇部

51.

井口智揮, 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二: プロスポーツ選手の頸髄症に対する後方内下除圧術の 1 例, 第 8 回和歌山 MIOS フォーラム , 2011.1.22 , 和歌山市

52.

井口智揮, 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司: スポーツ選手に対する頸椎内視鏡手術 21 例 . 和歌山県整形外科医会 2011.3.6, 和歌山市

53.

曾根勝真弓, 中川幸洋, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 吉田宗人: 椎間板ニアによる頸髄症患者に対する後方内視鏡下除圧術 . 和歌山 MIOS フォーラム , 2011.1.22 . 和歌山市

e) その他 (研究会等)

1. 吉田宗人: ラジオ「痛い・痛い・飛んでけ!」 和歌山放送 月 1 回放送

2. 岡安勤、下園英史：脳性麻痺の股関節脱臼に対する変法プラス両股関節周囲筋解離術・ハムストリング延長術の一不成功例．第28回日本脳性麻痺の外科研究会主題2011.10熊本市
3. 安藤宗治，玉置哲也，麻殖生和博，峠康，山崎悟，高見正成，太田泰宏，神埜聖治，佐々木俊二：頸椎椎弓板切除術でニタリングで予防可能か．第33回脊髄機能診断研究会2011.2．東京
4. 山田宏：脊柱靭帯骨化症に関する調査研究．平成22年度第2回班会議，2011.11.5，慶應義塾大学病院、東京
5. 増田研一：変形性膝関節症患者における画像所見と臨床症状の関連性MRI（特に骨壊死像に関して）．第3回変形性膝関節症を考える会2011．8．大阪
6. 南出晃人：頸椎疾患に対する病態と治療 - 最近のトピックス 平成22年度和歌山市医師会外科・整形外科部会講演会11.2.5. 和歌山
7. 南出晃人：脊椎内視鏡手術の適応とその有用性 2第 回 大阪臨床整形外科医会研修会．2011.2.19. 大阪市
8. 南出晃人：内視鏡下脊椎後方手術の実際．アドバイザーミーティング1.5.30. 和歌山
9. 南出晃人：痛みの治療．ヤンセンファーマ株式会社 社内勉強会．2011.7.25. 和歌山
10. 南出晃人：骨粗鬆症における最新の知見と展望．骨粗鬆症セミナー日高．2011.10.4. 御坊市
11. 南出晃人：骨粗鬆症診療における診断と治療の知見と展望．田辺市・日高・西牟婁郡 三医師会学術講演会．2011.10.6. 田辺市
12. 河合将紀：腰痛について - ほっとけない腰痛とは 第3回最新医療カンファレンス腰痛総論，2011.7.14．和歌山
13. 山田宏，吉田宗人，河合将紀，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，岩崎博，筒井俊二：胸椎黄色靭帯骨化症に対する内視鏡下手術の試み，脊柱靭帯骨化症に関する調査研究．H23年度第2回班会議，2011.11.5，東京
14. 河合将紀：内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術（MED）．第2回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー，2011.6.24-25，和歌山
15. 河合将紀：METRxシステムを用いた内視鏡下脊椎後方手術の現状第3回VHJスパインセミナー，2011.11.19，東京
16. 河合将紀：腰椎椎間板ヘルニアに対する低侵襲アプローチ - MEDとMED-，カダバセミナー→2011，2011.2.4，和歌山
17. 中川幸洋：第2回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー技術講習会・講師）2010.6.25．和歌山市
18. 麻殖生和博：神経障害性疼痛へのアプローチ～整形外科領域における疼痛コントロール河北痛みのフォーラム2011．6．和歌山市
19. 麻殖生和博：骨粗鬆症の治療戦略～整形外科の立場から～．日高医師会学術講演会，2011．11．御坊市
20. 野村和教：脊椎のスポーツ障害・発症のメカニズムと予防法 椎間板障害．第21回関西臨床スポーツ医・科学研究会11.6.大阪
21. 中根康博：第5回菅谷系肩関節鏡手術研究会に参加（cadaverを使った手術研究会）2011.1.21～25 ハワイ島ハワイ大学
22. 中根康博：第1回関西肩コラボレーションミーティング2011.9.3 大阪
23. 中根康博：股関節鏡（FAI）ライブサージェリー企画，2011.7.6 角谷整形外科病院

24.

中根康博：国民体育大会（山口県主催）に和歌山県代表チームの帯同ドクターとして参加。8～10 山口県

25.

中根康博：Depuy MITEK 社主催の肩関節鏡手術キャザバートレーニング（講師）。11.19～21 ハワイ大学

26.

中根康博：関西独立リーグ紀州レンジャーズ 定期メディカルチェック，2011.3/31, 4/7, 4/11, 4/15 角谷整形外科病院

27.

宮崎展行，南晋司，坂田亮介，綿貫匡則，中谷匡登，三宅悠介，吉田宗人：字締結法を用いたDall 骨片固定。第 1 回ドール手術手技研究会，2011.4.2，大阪市

28.

宮崎展行，南晋司，坂田亮介，三宅悠介，吉田宗人：IA38 年後に感染にて抜去したMick Kee-Farrar の 1 例。第 6 回超長期耐用をめざしたインプラントと骨との固着を語る会，2011.3.12，京都市

29.

木岡雅彦，吉田宗人，河合将紀，中川幸洋，南出晃人，山田宏，橋爪洋，筒井俊二，岩崎博，石元優々，長田圭司，瀧口登，籠谷良平，湊小太郎，中尾恵，今西勤峰，井上喜仁，森正人，高橋隆，今中良一：当科におけるコンピューター支援下脊椎内視鏡手術。第 5 回日本 CAOS 研究会，2011.9. 吹田市

30.

谷口亘，瀧口登，海戸弥恵，西尾尚子，川崎康彦，宮崎展行，吉田宗人，中塚映政：中塚映政 A11 細胞電気刺激によるドパミン神経作動性下行性疼痛抑制系の活性化 - in vivo パッチクランプ法を用いた機能解析。第 33 回脊髄機能診断研究会。2011.2，東京

31.

谷口亘，松村伸司，西尾尚，瀧口登，伊藤誠二，吉田宗人，中塚映政：多光子励起レーザー顕微鏡を用いた脊髄後角痛覚ニューロンの動態解析。第 9 回整形外科痛みを語る会。11.6, 松山

32.

峰巨：持続吸引療法が奏功した難治性 IA 術後感染の 1 例。紀伊半島整形外科懇話会。011.7.

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人：脊柱靭帯骨化症に関する調査研究
2. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人：膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究
3. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人：腰痛の診断、治療法に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」
4. 平成 22 年度科学研究費補助金（基盤研究） 代表研究者 吉田宗人：脊髄損傷後の難治性疼痛における ROS の関与について
5. 平成 23 年度特定研究助成プロジェクト 吉田宗人 山田宏：神経系による生体反応の制御—基礎医学・臨床医学の融合—
6. 平成 23 年受託研究（和医大総策23004号）吉田宗人：高齢者運動器疾患予防対策事業に係る運動プログラム開発
7. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 山田宏、吉田宗人、河合将紀、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹：胸椎黄色靭帯骨化症に対する内視鏡下手術の試み
8. 文部科学省科学研究費 基盤研究（C）山田宏：腰部脊柱管狭窄症の発症要因の解明 車両搭載型MRIを用いた地域住民コホート研究
9. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究（C）橋爪洋：腰椎椎間孔外側病変ならびにダブルクラッシュ病変における疼痛メカニズムの解明
- 10.

文部科学省科学研究費 若手研究 (B) 谷口 亘 : In vivo パッチクランプ法を用いたドーパミン下行性疼痛抑制系の解明

11.

経済産業省課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業 木岡 雅彦 , 吉田 宗人 : Augmented Endoscope 内
視鏡下脊柱管狭窄症手術の術前・術中支援システム

12.

平成 23 年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 木岡 雅彦 : 高速レンダリング技術を利用した脊椎内視鏡手術支援および手術教育システ
ムの開発